

瀬戸内市立
美術館 現代陶芸の展覧会

美術館の展示室とウェブ
サイト上の特設ページ、二
つの「会場」をQRコード
でつなげた現代陶芸の展覧
会が13日、瀬戸内市立美術
館(同市牛窓町牛窓)で始
まる。作品を見ながら、ど
のように作られたかを手元
のスマートフォンで確認で
きる珍しい取り組みだ。

2015年度より県立大
と東京芸術大が進める共同
研究「現代日本陶芸のデザ
インと技法」の集大成。陶
芸の魅力を広く伝えたい
とする久保田厚子県立大教
授の呼び掛けで、同大卒業
・修了生を軸に伝統、前衛
プロダクトデザインなど多
分野の陶芸家20人が参加し
た。

制作には同大のガス窯を
使い、個々の制作過程をウ
ェブで発表。作りためた実

作品展示台にQRコード

制作過程 ウェブで解説

作品を見せる同展は、同
時に各作家の創作ノート
にアクセスできるようにQR
コードを展示台に貼る
という「誰も見たことが
ない」(久保田教授)実
験的な形式をとった。

計45ある創作ノート
は、石ころ型で作ったパ
ーツを接着してしま模様
にする▽砂を吹き付ける
機器で大皿に文様を彫る
▽作品と共に「さや」に密
封するわらなどを調整し
て焼き色を変える「とい
った内容。やや専門的だ
が画像も多く、作品をぐ
っと身近に感じられる。

同美術館は約3年前か
ら、作家の許可の下、作
品を撮影できる展覧会を
意欲的に企画してきた。
関洋平学芸員は、図録や
ギャラリートーク、音声
ガイドの代わりに各自の
スマホを使う今回の手法
は「今後もっと発展させ
られる。新しい見せ方の
きっかけになれば」と期
待している。

約70点を出展予定。2
月3日まで。同館(08
69943130)。

(平井美佳)



QRコードでリンクさせたウェブ上の創作ノ
ート。解説と図録を兼ねている(イメージ)